

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」下野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者様の活動内容に応じ適宜パーティションの配置を変え対応している	限られたスペースを広く使えるよう活動に応じ調整していきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		職員全体でお子様の様子を見守り運営している。	休みが出るとフィードバックで手が足りないと感じることがある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内の掃除や換気、衛生面を徹底して清潔に保っている。	ご利用者が利用しやすいようパーティションを活用し、刺激が少ない環境設定を心掛けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用者様に季節を感じてもらえるよう各環境づくりを行っている。	感染予防対策を徹底し、教具の消毒、室内換気 検温管理など細心の注意を払い対応しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		週 1 回の全体ミーティングを行い改善を図っている。	職員間で、振り返りや問題点を把握し、質の高い支援を目指すための話し合いをしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		内容について教室全体で共有し改善点を把握し修正し、支援にご満足いただけるよう各職員が課題意識を持ち、教室全体で業務改善に繋いでいきます。	支援にご満足いただけるよう各職員が課題意識を持ち、教室全体で業務改善に繋いでいきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ、社内掲示にて毎年公表している	自己評価、及び改善内容について昨年同様、ホームページと社内掲示で公表させていただきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的な事業所内部監査を行っている。	内部監査の結果より指摘に関しては、迅速に改善を行っていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修に参加しており支援に役立っている。	他校舎との交流研修や、外部研修への参加を積極的に図り、質の向上に努めます。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		フィードバックや事業所内相談で課題点の確認を行い計画内容の見直しを行っている。	保護者様からの聞き取りをもとに職員間で検討を行い、ご利用者様に寄り添った適切な内容の支援を提供していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所全体で共通したアセスメントシートを使用している	アセスメントツールの内容を更新して頂き適切な支援計画を検討していきます。

提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用者様のニーズに合わせ目標を設定し保護者様と話し合い適した支援内容を提供できるよう教室全体で把握し園内容を作成している	対話機会を多く設け、保護者様と信頼関係を築いていけるよう、ご要望を理解し、ご利用者様に寄り添う形で支援計画の作成に努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		お子様に合わせた内容で教具を工夫し支援をしている	保護者様のご要望を聞き取り質の向上に努め支援内容に取り入れていきます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		イベント、就学プログラムでは話し合いでそれぞれ分担を決めている	利用者の立場から活動プログラムの立案を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		内容が被らないようにやり方や準備段階で工夫をしている	保護者様のご意見を反映できるよう情報共有をし取り組んでいきます。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		イベントなどの集団活動を適宜行っている	保護者様のニーズに寄り添う形で、活動プログラムを立案していきます。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業時に打ち合わせを必ず行い情報共有と当日の流れやお子様の様子を伝えている	職員間でのすり合わせを必ず実施し、改善事項を反映し当日の支援に役立てていきます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日と翌日に分けて情報共有を行っている	申し送りの際には共有スペース、支援記録にも内容を記入しておくことで、職員への周知徹底を進めていきます。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		担当指導員がその日の記録を付け、全員で把握できるようにしている	具体的な内容を伝え、記録としてきちんと残すことで支援の検証・改善につなげていきます。	
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的モニタリングを実施し必要に応じて見直しを行っている	モニタリングを確実に実施し、必要に応じた支援内容の見直しを適宜か図っていきます。	
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて児発管と指導員が参加している	今後の状況に応じ、児発管、指導員で参加していきます。
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と情報共有し、事例等を伺うことで今後の支援に反映させている	必要に応じて、関係機関と連携し、アドバイス・助言等をいただき、支援内容に反映させいきます。
		23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当がありません。	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)		○	該当がありません。		

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	必要に応じ支援記録を保護者様にお渡しし事業所での様子を伝えている	必要に応じ、関連機関との情報連携を図り、共有を行っています。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じ小学校を訪問し関係機関連携を行っている	必要に応じ、関連機関との情報連携を図り、共有を行っています。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	他の事業所と意見交換をさせて頂いたり、児童発達支援センターの助言をいただき支援に反映させている	必要に応じて、関係機関と連携し、アドバイス・助言等をいただき、支援内容に反映させます。	
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流の場は設けていないが周知活動をさせて頂きながら関係構築を図っている	必要な時に対応できるよう関係機関と連携を図っていきます。	
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		機会があれば、積極的参加の可能性を検討いたします。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバックで支援中の気づき、できたこと難しかったことを伝えている	保護者様との対話を重視し、ご利用者の状況や課題について、お伝えしていきます。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			家族支援プログラムもとに、ペアレント・トレーニングをブラッシュアップし、保護者様に対する活用機会を設定していきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際説明し、了承を得ている	保護者様との対話を重視し、些細なご質問でも丁寧な回答対応を心がけていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		定期的に、児童発達支援計画を示しながら、内容のご説明を行い、保護者様の同意を得ている	ガイドラインに沿った支援をもとにした支援計画を作成し、保護者様へのご説明を行い、内容の理解を頂き、ご支援を進めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談を行い相談内容を共有し支援に取り入れている	保護者様に寄り添う形で、些細なご相談にも応じ、適切な対応や、アドバイスがご提供できるよう心掛けます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍が落ち着いてきたので今後検討実施予定	保護者様参加のイベント開催企画を検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった際は教室内ですぐに情報共有を行い、対応策を検討している	ご相談に対して、迅速なご対応が可能なよう、教室職員全体での情報共有を進め、対応していきます。

非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNS で行事等の案内を行い、教室内の取り組みを発信している	関係機関に、案内チラシを配布するなど告知を図る、また、SNS 活用による外部発信を継続していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのロッカーで個人情報に関わる書類の保管を行っている	個人情報に関しては施錠可能なスチールロッカーでの保管を徹底しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に応じ個室を利用したりし適切な対応を心掛けている	状況に応じて個室の利用や、パーテーションを活用したパーソナルスペースの利活用など工夫しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所主催では実施できていないものの、行政による企画イベントへの参加など積極的取り組みを行っています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルごとファイリングをし、月 1 回の避難訓練を実施	マニュアル単位でファイリングし、職員、保護者への周知を徹底した運用を行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月 1 回避難訓練を行っている。	あらゆる災害を想定し訓練を行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約の際に確認を行っているまた面談等で再確認をしている	引き続き個人特性を把握した上で、緊急対応などの連絡先など対応方法を明確化しています。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	対象者はいません。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内で共有しヒヤリハットを作成し再発防止に努めている	ヒヤリハット発生については都度報告書を作成し、防止策を含めた事例を職員へ展開周知しています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置しユニット内で研修を行っているまた、県開催の外部研修に参加している	虐待防止委員会を立ち上げ、各職員へ事例研究や検討会を開催し、意識づけを継続していきます。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		保護者様に身体拘束に関する説明をし、同意書を頂いている	個別支援計画において記載をしています。また、身体拘束の判断についてはマニュアル化し保護者様に同意書を頂いています。また虐待防止委員会を通じ、職員への周知を図っています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」下野校

保護者等数（児童数）：3 回収数：3 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				活動に応じてレイアウトを変えてれています	パーティションなどの利用により、工夫することで有効スペースの確保を行ってまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3				フィードバック時には支援以外の先生も関わってくれています	職員配置や専門性については留意していますが、欠員対応などはさらなる配慮を継続してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2			1	子供が集中できるようにパーティションで区切ってくれています	入口に段差があるため、職員による入退出時におけるサポートを行うことで事故防止に努めてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				活動に合わせて配置を変えてれています	教室内の清潔な環境維持していきます。またスペースに関しては、臨機応変に対応してまいります。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3				フィードバックで話を聞いてもらい要望に応えてれています	保護者様のニーズを傾聴させて頂き、ご利用者様にとって適切な支援計画を策定してまいります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1			2		ガイドラインに沿った支援をもとにした支援計画を作成し、保護者様へのご説明を行い、内容の理解を頂き、ご支援を進めていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				子供が好きなキャラクターなどを取り入れてくれています	ご利用者様の意向を反映した立案を行い、ご要望に沿った形で支援を実施しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3				こどもの好きなものを把握して飽きないよう工夫してくれている	保護者様のニーズに寄り添う形で、活動プログラムを立案していきます。また、固定化しないように工夫を継続します。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				3		機会があれば、積極的参加の可能性を検討いたします。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3			契約時に説明をされています	保護者様との対話を重視し、些細なご質問でも丁寧な回答対応を心がけていきます。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1		2		普段から保護者様と対話を大事にし、ご要望を理解し、支援計画の作成に努めてまいります。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3			相談に対し丁寧なアドバイスをもらっています。	家族支援プログラムもとに、ご家族にしっかり寄り添い対応していきます。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3			フィードバックで支援の様子や今後の課題を伝えてもらっています	保護者様に寄り添う形で、些細なご相談にも応じ、適切な対応や、アドバイスがご提供できるよう心掛けます。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3			事業所内相談だけでなく普段から話を聞いてくれて相談しやすいです	保護者様との面談を通じた対話を重視しています。些細なご質問でも丁寧な回答対応を心がけていきます。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1		2	時間が取りにくいので参加は難しいです	保護者様間での連携を目的とした、保護者様参加のイベント開催企画を検討いたします。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3			みなさん丁寧に対応してくださって有難いです	毎回保護者様との会話を重視し、保護者様が気軽に相談できる環境を意識し適切な対応を取ってまいります。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3			いつもお話を聞いてもらっています	保護者様、ご利用者様に寄り添う形で、気軽にご相談をいただける環境をご提供できるよう心掛けます。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3			SNSで活動の様子を見えています	定期的なSNSやチラシ作成により、教室での取り組み内容の発信を行っています。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3			個人情報の取り扱いについての説明を受けています	個人情報の取り扱いについては教室全体で理解し、鍵付きスチールロッカーで保管しています。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			個人情報の取り扱いについて説明を頂いています	個人情報の取り扱いについては教室全体で理解し、鍵付きスチールロッカーで保管しています。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			避難訓練日に利用の際は参加することもあります	定期的（月/1）に、各種災害を想定した訓練を実施しています。	

満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3			いつも楽しみにしています。	利用者様が楽しく通っていただけるよう支援内容を工夫して行っています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3			こちらの要望に対応してもらって大変満足しています	これからも保護者様、利用者様に寄り添い、成長をサポートできる事業所を目指しています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。